

# 平成24年度病害虫発生予察特殊報第2号

平成24年10月11日  
栃木県農業環境指導センター

## タバコノミハムシの発生について

1 害虫名：タバコノミハムシ *Epitrix hirtipennis* (Melsheimer)

2 発生物名：なす、トマト

3 発生経過

平成24年7月に県南部の減農薬なすほ場および隣接する露地トマトほ場において、種名不明のノミハムシ類及びその食害が確認された。東京農業大学総合研究所の松沢春雄博士に同定を依頼したところ、タバコノミハムシ *Epitrix hirtipennis* (Melsheimer) であることが判明した。なお、本種は北アメリカおよび中央アメリカに分布するとされるタバコの害虫である。

4 被害の特徴

食害痕は、なすやトマトの葉上に1～2mm程度の小さな穴として多数観察される。多発時には、葉が一面食害を受けることもあるが（図4）、収量への影響は不明である。



図1 トマト葉の食害痕と成虫



図2 トマトの新葉を食害する成虫



図3 なすの葉を食害する成虫



図4 多発時のなす葉の食害痕

5 形態

成虫は体長1.5～2.5mm、長楕円形でやや光沢のある赤褐色で上翅には不明瞭な黒斑を持ち、後腿節は肥大している。

## 6 生活史・生態

(1) アメリカ合衆国ではタバコの害虫とされているが (Semtner, 1984)、国内では、なす、トマト、ばれいしょ、ホオズキ等のナス科作物から見出されている (原田・滝沢, 2012)。

(2) 卵は地表に産み付けられ、幼虫は地下部を食害し、地表部付近で蛹化する (Dominick, 1971; Lykouressis, 1991)。

(3) 原田・滝沢 (2012) では、関東地方で5～6月及び9～11月に発生を確認しており、さらに県内で7～9月にも発生が確認されたことから、初夏から晩秋まで連続的に発生するものと考えられる。国内における詳細な生活史は明らかではない。

(4) 加害様式の類似するナスナガスネトビハムシと同時に発生することがあるが、ナスナガスネトビハムシは金属光沢のある濃藍色であるのに対し、本種は赤褐色であることから区別できる。

## 7 防除対策

(1) 平成24年10月時点で本害虫に登録のある農薬は無い。

(2) 本害虫と疑わしい個体を見つけた場合、最寄りの指導機関に連絡していただき、具体的な防除方法についてご相談ください。

## 8 その他

本害虫は家庭菜園や減農薬ほ場を中心に発生が確認されており、通常の病害虫対策を講じているほ場ではほとんど確認されていない。

## 9 引用文献

Dominick, C. B. (1971) J. Econ. Entomol. 64: 88-89.

Lykouressis, D. P. (1991) Entomol. Hellenica 9: 81-85.

Semtner, P. J. (1984) J. Econ. Entomol. 77: 98-102.

原田晴康・滝沢春雄 (2012) 日本における侵入害虫タバコノミハムシの発生. 応動昆. 56: 117-120.

詳しくは、農業環境指導センター (<http://www.jppn.ne.jp/tochigi/>) までお問合せ下さい。

Tel (028) 626-3086 Fax (028) 626-3012